

## 廃止の合理的理由 都側は示せず

日本共産党の里吉ゆみ東京都議は11日、都議会文教委員会が夜間定時制高校4校を廃止しようとしている問題で質問し、存続を求めました。

11月26日に都教委が発表した都立高校改革推進計画・新実施計画案では、立川、小山台、雲谷、江北の四つの定時制高校の廃止方針が示されました。

里吉議員は目黒区民の「小山台高校は品川区と目黒区の境にあるので通う生徒が多く、なくなったら本当に困る」との声を紹介。また、立川高校には八王子市在住の生徒が多いことを明らかにし「八王子ですらでに四つの定時制が廃止されてきた。立川が廃校となれば、八王子市、立川市にある夜間定時制はすべてなくなる」として、通学できる範囲に夜間定時制がなくなる生徒のことを考慮せよ

## 東京定時制4高校の存続を里吉都議が要求

と迫りました。

里吉都議が、なぜこの4校が廃止対象校となったのかただしたのに対し、教育改革推進担当部の出張吉訓(ではり・よしのり)部長は「東京都全体の状況をみて選定を行った」と繰り返し答弁するだけで、合理的な理由を示しませんでした。

また、夜間定時制を廃止する代わりに、3部制の昼夜間定時制やチャレンジスクール(計7校)で定員を増やすことに対応するとの同部長の答弁に対して、里吉議員は「立川高校の受け皿として想定される砂川高校(3部制の昼夜間定時制)では、2015年度の入試倍率はすでに1・7倍。受け皿にはなりえない」と指摘しました。

傍聴した「立川高校定時制の廃校に反対する会」の佐藤徹さんは「都の答弁は、生徒のことなどまったく考えていないようすで、納得できない」と話しました。